

PART 1

GENERAL ORGANISATION OF CYCLING AS A SPORT

スポーツとしての自転車競技組織

Rules amendments applying on 01.01.2027
以下の日付に施行されるルール改正 : 01.01.2027

改訂前	改定後
Chapter III 装備 Section 1 総合規定 § 1 原則 1.3.001bis UCI は、ロード、トラック、シクロクロス競技部門および EPAC 競技大会に対して承認手続きを実施するものとする。これらの競技部門および競技大会については、それぞれの承認手続きにおいて、UCI による自転車の承認、および EPAC 競技大会用の公認ドライブユニットの承認の手順と規則を定めるものとする。 競技者およびチームは、競技大会で使用されるすべての装備が、承認手続きが定める要件に準拠しており、かつ、UCI が公表する公認装備のリストに記載されていることを確認する責任を負うものとする。 (article introduced on 01.01.11 and modified on 01.01.25)	Chapter III 装備 Section 1 総合規定 § 1 原則 1.3.001bis UCI は、特定の機材の承認に関する手続きおよび要件を定めた承認手続きを導入するものとする。 各承認手続きは、それが適用される競技部門および、該当する場合には競技のクラスによって、その適用範囲を定義する。 これらの承認手続きは、以下のとおり適用される： 1. フレームセット承認手続き：ロード、トラック、シクロクロス； 2. ホイール承認手続き：ロード、トラック、シクロクロス； 3. ヘルメット承認手続き：ロード、トラック、シクロクロス； 4. 試作品機材の承認手続き：すべての競技部門； 5. EPAC (電動ペダルアシスト自転車) の駆動ユニット承認手続き：すべての競技部門 競技者およびチームは、競技大会で使用されるすべての装備が、承認手続きが定める要件に準拠しており、かつ、UCI が公表する公認装備のリストに記載されていることを確認する責任を負うものとする。 (article introduced on 01.01.11 and modified on 01.01.25; 01.01.27)

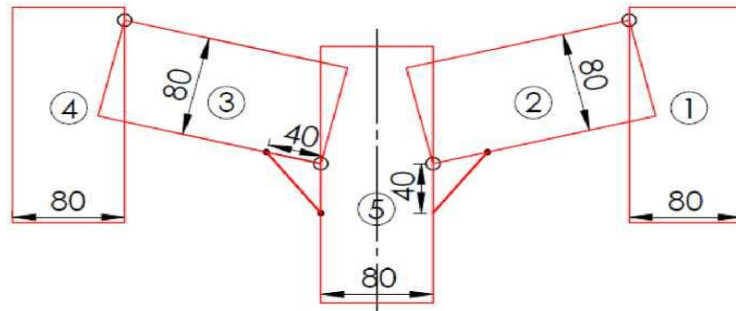
d) Structure (構造)

1.3.022

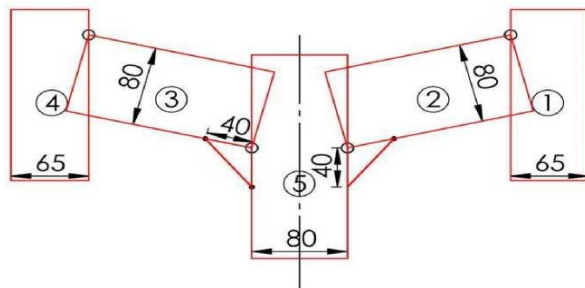
条項1.3.023条を適用する以外の競技においては、伝統的形状のハンドルバーのみが使用できる(「構造(1A)」図を参照)。ハンドルバーは以下に明示する範囲になければならない: 上限、サドル座面(B)を通る水平面; 下限、前後輪(これらは同径である)の上端から100mm下を通る水平面(C); 後方は操舵軸(D)、そして前方は前車軸の中心線から100mmの水平距離上を通る垂直面(「構造(1A)」図を参照)。

さらに、すべてのハンドルバーは以下に適合しなければならない:

- ハンドルバー断面の最大寸法はトラック競技用では80mm、ロードおよびシクロクロスでは65mmまたは80mmとする(図<構造1.0 トラック>および「図<構造1.0 ロード、シクロクロス>」を参照)。



Structure (1.0) Track
<構造1.0 トラック>



Structure (1.0) Road, Cyclo-cross
<構造1.0 ロード、シクロクロス>

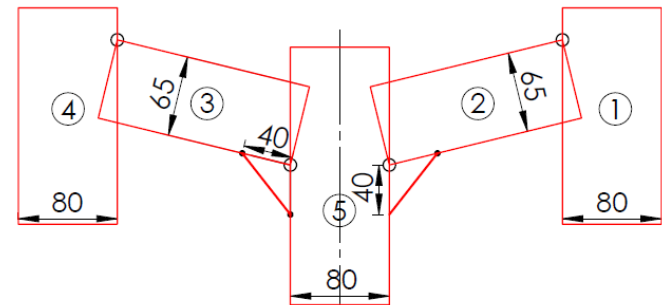
d) Structure (構造)

1.3.022

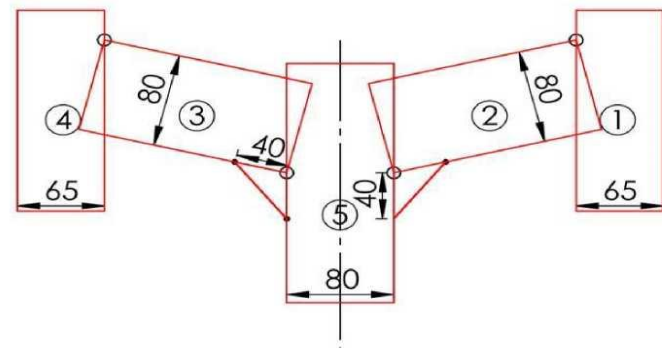
条項1.3.023条を適用する以外の競技においては、伝統的形状のハンドルバーのみが使用できる(「構造(1A)」図を参照)。ハンドルバーは以下に明示する範囲になければならない: 上限、サドル座面(B)を通る水平面; 下限、前後輪(これらは同径である)の上端から100mm下を通る水平面(C); 後方は操舵軸(D)、そして前方は前車軸の中心線から100mmの水平距離上を通る垂直面(「構造(1A)」図を参照)。

さらに、すべてのハンドルバーは以下に適合しなければならない:

- ハンドルバー断面の最大寸法はトラック競技用では80mmまたは65mm、ロードおよびシクロクロスでは65mmまたは80mmとする(図<構造1.0 トラック>および「図<構造1.0 ロード、シクロクロス>」を参照)。

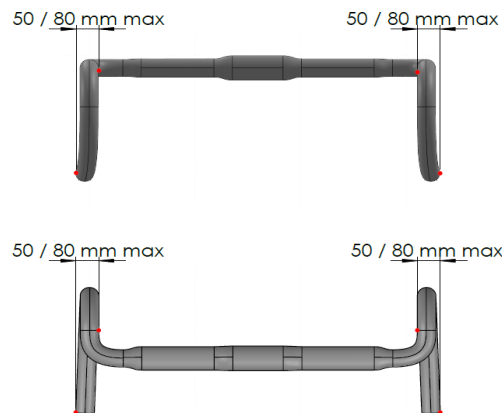


Structure (1.0) Track
<構造1.0 トラック>



Structure (1.0) Road, Cyclo-cross
<構造1.0 ロード、シクロクロス>

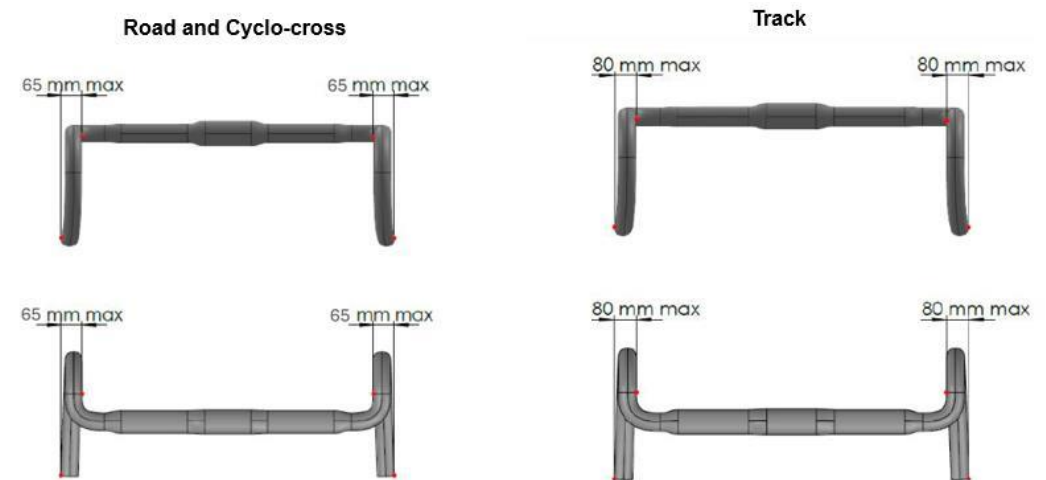
- ステム断面の最大寸法は80mmとする。
- すべてのフォーク付属品の断面の最小寸法は10mmとする。
- ステムとハンドルの接合部には、補正のために2辺が40mmの二等辺三角形2つが認められる
- ハンドルバーの全幅(外側から外側までの測定)の最小寸法は、ロードバイクおよびシクロクロスバイクともに400mmとする。
- ハンドルバーの同じ側の外端から内端までの最大寸法は、ロードバイクおよびシクロクロスバイクともに50mmを超えてはならない。(図<構造1>参照)



Structure (1) 構造(1)

ハンドルバーに付くブレーキ操作部は、二つのレバー保持部で構成されなければならない。これは、UCI技術規則の明確化ガイドに記載されているように、ブレーキレバーの最大10度の傾斜に従い、レバー保持部の上に置いた手でレバーを引いて安全にブレーキを作動できなければならない。ブレーキレバーの最大傾斜は10度とし、ブレーキレバーの両端の内側間の最小寸法は320mmとする。ブレーキと変速機操作の複合機構は承認されている。

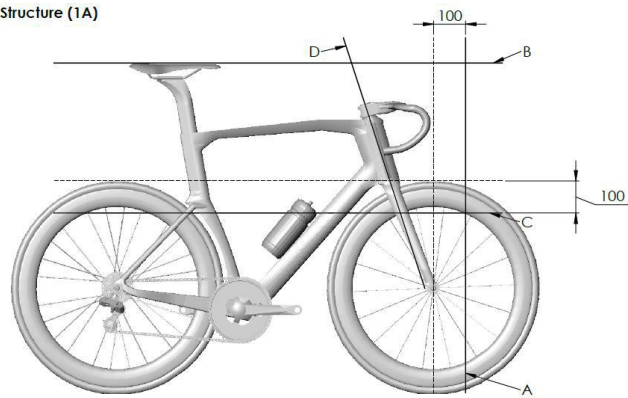
- ステム断面の最大寸法は80mmとする。
- フォークのすべての付属部品の断面の最小寸法は10mmとする。
- ステムとハンドルの接合部には、2辺が40mmの二等辺三角形2つを補強部材として使用することが認められる。
- ハンドルバーの全幅(外側から外側までの寸法)は、ロードおよびシクロクロスでは最小400mm、**トラック競技では最小350mmとする。**
- ハンドルバーの同じ側における外端から内端までの最大寸法は、ロードおよびシクロクロスでは65 mm、**トラック競技では80mmを超えてはならない(図<構造1>参照)**



Structure (1) 構造(1)

ハンドルバーに取り付けられるブレーキ操作部は、二つのレバー保持部で構成されなければならない。レバー保持部に置いた手でレバーを引くことにより、安全に作動できなければならない。ブレーキレバーの最大傾斜角は10度とし、ブレーキレバーの両端の内側間の最小寸法は280 mmとする。代替的な使用を可能にするような支持部の延長または再構成は禁止される。ブレーキと変速機操作の複合機構は承認されている。

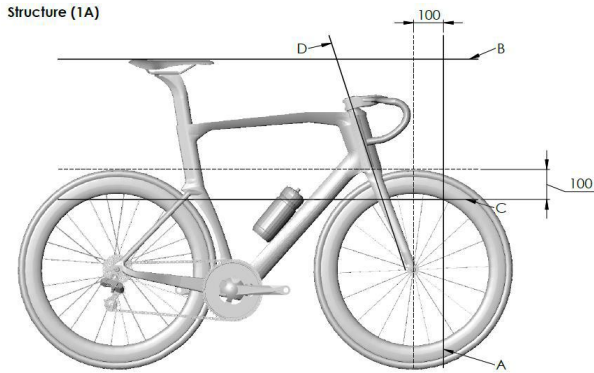
Structure (1A)



Structure (1A) / 構造 (1A)

(text modified on 1.01.05; 1.10.10; 1.02.12; 01.11.14;01.01.23;1.04.24; 01.01.26; 01.01.27).

Structure (1A)



Structure (1A) / 構造 (1A)

(text modified on 1.01.05; 1.10.10; 1.02.12; 01.11.14;01.01.23;1.04.24; 01.01.26;01.01.27).

1.3.031

1. 室内自転車競技およびBMXフリースタイル・フラットランドを除くすべての競技部門においては、競技および公式練習中、リジッド・ヘルメット（硬質な殻体を持つヘルメット）の着用を義務付ける。
2. すべての競技部門において、競技および公式練習中以外でも、硬質な安全ヘルメットの着用は推奨される。いかなる場合でも、法的な規定を順守しなければならない。

3. 各競技者は下記について責任を持たなければならない：

- ヘルメットが公式の安全基準に従って承認されており、ヘルメットが承認されているものと確認されることができるとを保証すること。
- あご紐を正しく調整することのみならず頭部に正しく調整することを含み、ただしこれらに限らず、完全な保護を保証するために安全規則に従ってヘルメットを着用すること。
- ヘルメットの保護性能を損なうような扱いを避け、また不適切な扱いを受け、あるいは保護性能が損なうような事故に遭ったヘルメットを着用することを避けること。
- 事故やショックに遭っていない公認されたヘルメットのみを使用すること；
- 設計あるいは形状において、変更されたり、要素が付加されたり除去されたりしていないヘルメットのみを使用すること。
- ヘルメット製造者により承認された付属品のみを使用すること。

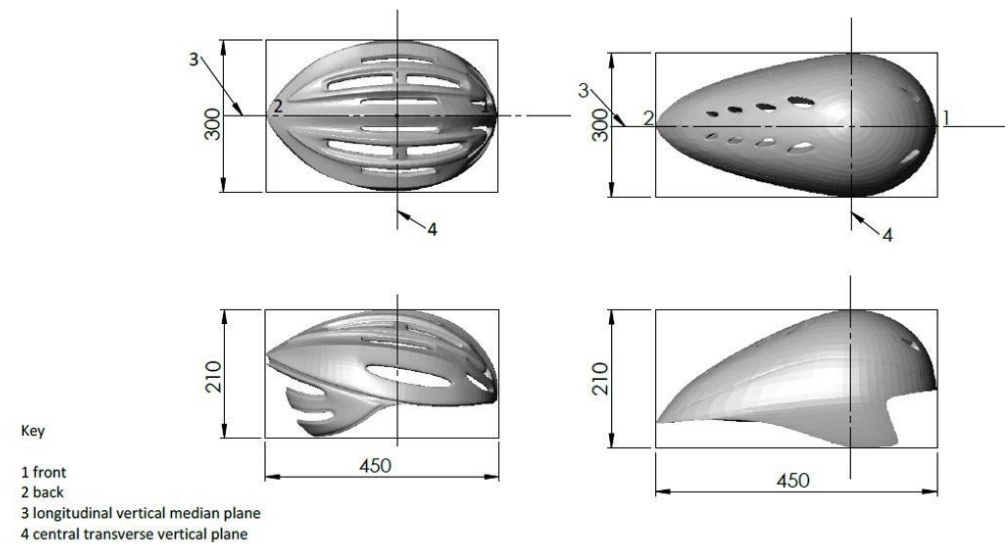
4. 以下の表に、ロード、トラック、およびシクロクロスの各競技部門におけるヘルメットに関する要件を示す。

以下の表は、ヘルメットを「従来型ヘルメット」と「タイムトライアル用ヘルメット」の2種類に分類しており、それぞれのカテゴリに対応する仕様を示している。

仕様	従来型ヘルメット	タイムトライアル用ヘルメット
最大寸法(長さ × 幅 × 高さ)mm (下図参照)	450 x 300 x 210	450 x 300 x 210
通気性	ヘルメットのシェル構造には、明確に区別できる通気口が少なくとも3か所設けられていなければならない。	制限なし
耳の覆い	ヘルメットのシェルおよび付属品は、側面から見て競技者の耳を覆ったり、妨げたり、囲い込んだりしてはならない。	制限なし

	バイザー 「バイザー」とは、ヘルメットから取り外して単独で着用することができない、固定または取り付けられたシールドを指す。	一体型または取り外し可能なバイザーは認められない。ヘルメットは、いかなるバイザーの付属品やシールド状のアクセサリも装着せずに使用しなければならない。	一体型または取り外し可能なバイザーの使用は認められる。
	以下の表は、従来型ヘルメットおよびタイムトライアル用ヘルメットの使用が認められている競技種目を示している。		
	ロード競技	従来型ヘルメット	タイムトライアル用ヘルメット
	個人タイムトライアル、チームタイムトライアル	使用可	使用可
	その他の競技	使用可	使用不可
	トラック競技	従来型ヘルメット	タイムトライアル用ヘルメット
	インディヴィデュアル・パーシュート、チーム・パーシュート、1km タイムトライアルおよびチームスプリント	使用可	使用可
	200 m タイムトライアル、スプリント、ポイントレース、ケイリン、マディソン、スクラッチレース、エリミネーション、オムニウム、テンポレース	使用可	使用不可
	その他の競技	使用可	使用不可
	シクロクロス	従来型ヘルメット	タイムトライアル用ヘルメット
	すべての競技	使用可	使用不可
	(Text modified on 5.05.03; 1.01.04; 1.08.04; 1.01.05; 1.02.07; 1.07.11; 1.01.15; 1.01.17; 27.03.17;01.01.23;01.01.26; 01.01.27)		

下図に、トラディショナル・ヘルメットおよびタイムトライアル・ヘルメットの寸法の測定方法を示す。



Key / キー

1 front / 前面

2 back / 後面

3 longitudinal vertical median plane / 長手方向における縦中心面

4 central transverse vertical plane / 中央垂直軸を通る垂直面